

# NEWSLETTER

CTC教育サービスの最新情報をお届けいたします

## オープンバッジ 配布サービス開始 配布開始から1ヶ月、早くも受講者の約半数が申請！ ～「スキル習得」の証明が、キャリアアップ・転職の後押しに～

この度、CTCT主催の研修を修了された皆様へ「オープンバッジ」の配布サービスを開始しました。

オープンバッジは、スキルや知識、経験をオンライン上で共有できるデジタル証明書で、SNSやビジネスネットワークでの活用が可能です。オープンバッジは、ブロックチェーン技術を用いた改ざん不可能なデジタル証明書であり、LinkedInなどのSNSに公開することで、第三者に自身のスキルをアピールすることができます。

### 【オープンバッジの活用例】

- ・ LinkedInやX(旧Twitter)のプロフィールに掲載
- ・ 履歴書やポートフォリオへの添付
- ・ 社内外での経験・スキルアピール

オープンバッジの発行は、研修受講時に申請いただけます。

2024年12月2日の配布開始以降、大きな反響をいただいております。受講者の約半数の方が申請されています。これは、オープンバッジに対する期待の大きさと、スキル証明に対する意識の高さを示しています。例えば、「オープンバッジを取得したことで、スキルを客観的に証明できる」「今後の転職活動でもオープンバッジを積極的に活用できる」「オープンバッジの取得がスキルアップのモチベーション向上につながる」など、多角的に見てオープンバッジの取得の利点は多いと言えます。

CTC教育サービスでは、今後もエンジニアのスキルアップを支援するために、より実践的な研修プログラムの開発やオープンバッジの活用推進に取り組んでまいります。



## 2025. 冬号

### 新コース

Power BI  
Copilot プロンプト  
Copilot コースケース  
クラウドネイティブ基礎  
Nutanix

### 特集

Microsoft 365 Copilot とは？  
効率的なプロンプトの作り方 ポイント  
解説  
～研修で学ぶ、未来の働き方  
を変えるAI～

### コラム

クラウドデータレイクの魅力



## CTC教育サービス

IT・技術研修ならCTC教育サービス  
これから学ぶ人も、資格取得を目指す人も、最適なカリキュラムを選べます。

CTCテクノロジーのオリジナルコースやベンダー認定のコースなど、500以上の公開コースを定期開催しております。Webサイトでは、様々な角度(分野/ベンダー名/プロダクト名/資格/レベル/キーワード)から検索でき、スキルアップへの最適なプランを見つけ出すことができます。ますます活躍が期待されるエンジニアのスキルアップをCTC教育サービスは全力で応援します。



<https://www.school.ctc-g.co.jp/openbadge/index.html>

CTC教育サービス  
<https://www.school.ctc-g.co.jp/>



# 新コース

ぞくぞくりリース！

最新のコースリリースをお届け！  
コースの詳細・開催スケジュール・受講お申し込みは  
CTC教育サービスwebサイトをチェック！  
<https://www.schoo.ctc-g.co.jp/>

※記載されている各開催日は2024/7/12現在の情報です。

次回開催  
**1/29**  
(水)

【ハンズオン演習付き】Microsoft 365 アプリケーション  
でCopilot(副操縦士)をより効果的に利用する方法を学ぶ  
**MS-4005 Microsoft 365 Copilot に対  
して効果的なプロンプトを作成する**  
(Microsoft認定トレーニング)

コースコード P810 価格¥77,000(税込) 期間 1日間 (09:30~17:00)

このコースでは、Microsoft 365 アプリケーション (Word、Excel、PowerPoint、Teams、Outlook、OneNote) を対象に、コンテンツの作成、簡略化、変換、編集を行うための効果的なプロンプト作成方法を学びます。最良の結果を得るには、明確な目標、コンテキスト、ソース、期待することをプロンプトで提供するのが重要であることを学習します。

各アプリケーションの実践的なシナリオを通じて、業務効率を大幅に向上させるスキルを習得します。

CTC P810



## Microsoft 認定トレーニング ぞくぞくりリース！

次回開催  
**1/30**  
(木)~

データ分析と分析データの加工をゼロから学ぶ

### Power BI 入門

(CTCTオリジナルコース)

コースコード P608 価格¥132,000(税込) 期間 2日間 (09:30~17:00)

このコースは、Power BI Desktopを使用したデータ加工や、Power BI Serviceも含めたデータ分析を行うための手法を学習することで、効率良くデータを取り扱えるようになることを目標とした研修コースです。

データを取得・加工する方法や計算式を使用して元データにはない値を分析に使用する方法について学習します。また、レポートなど分析結果を表示し、他のユーザーを共有する手法についても学習します。

CTC P608



次回開催  
**1/28**  
(火)

【ハンズオン演習付き】経営幹部、営業、マーケティング、財務、IT、人事、業務の7つのユースケースを学ぶ  
**MS-4004 Microsoft 365 Copilot のユ  
ースケースを使って従業員を強化する**

(Microsoft認定トレーニング)

コースコード P809 価格¥71,500(税込) 期間 1日間 (09:30~17:00)

このコースでは、Microsoft Power Platform を使用して Dataverse にデータモデルを実装し、このデータソースからノーコード テクニックを使用してモデル駆動型アプリを作成する方法についてハンズオンを通して習得します。

このコースは、Microsoft 認定コースとして実施されます。Microsoft Applied Skills 資格証明に対応したトレーニングとなります。

CTC P809



初回開催  
1/20  
(月)

クラウドを前提としたシステム設計・運用手法  
**クラウドネイティブ基礎**

(CTCTオリジナルコース)

コースコード CN01 価格¥66,000(税込) 期間 1日間 (09:30~17:30)

このコースでは、クラウドを十分に活用したシステム(=クラウドネイティブなシステム)の設計と運用を行うために必要な基礎知識を習得します。

クラウドを利用する目的として「クラウドの性能の上げ下げを自由に行える特性を利用し、利用者からの大量のアクセスが発生した場合でも自由に性能をスケーリングできるシステムを作りたい」といったものや、「迅速にシステムを作成したい」・「利用者を引き付けるための機能追加をシステムやアプリケーションに頻繁に行えるようにしたい」といったものが挙げられます。

ただ、これまでのオンプレミスと同じ考え方(=オンプレミスネイティブな考え方)でシステムを設計・運用してしまうと、せっかくクラウドに作成したにもかかわらずそれを行えない可能性があります。

そこで、このコースではクラウドの「スケーラブル」・「迅速なシステムの作成が可能」・「迅速に機能追加が可能」といったメリットを十二分に活用できるシステム(=クラウドネイティブなシステム)を設計・運用するために必要な基礎知識を学習します。

オンプレミスのみご経験がある方は、クラウドにシステムを作成する際に当たり前のこととして行う設計手法や技術・知識を習得することができ、ご自身を「クラウドネイティブエンジニア」にアップデートできます。また、クラウドのご経験がある方も、これまで何となく触れてきた技術が使用されていた理由を体系立てて整理・学習できます。

知識習得がメインのコースですが、講師によるデモや個人ワーク・一部の技術を体験できる演習もご用意しており、効率よく知識を習得します。

CTC CN01

クラウドも仮想化も、  
必須のスキルを研修で学ぶ！

初回開催  
3/4  
(火)~

Nutanixクラスタの構成、管理(AOSバージョン6.10)  
**Nutanix Enterprise Cloud Administration**

(認定トレーニングパートナー開催)

コースコード NX04 価格¥742,500(税込) 期間 4日間 (09:30~17:30)

このコースでは、Prism Centralを中心に設計されており、Nutanixの統合管理機能の概要と詳細を説明し、Webコンソールで操作できるさまざまな機能を紹介します。

Nutanix Enterprise Cloud Administration コースは、4つのテーマに分類されています：

- ①ハイパーコンバインドインフラ(HCI)や各種 Nutanix クラウドソリューションパッケージなど、Nutanixの中核となるコンセプトを理解します。  
クラスタの基本的な構成と、仮想マシンの作成や管理に必要なコンポーネント(ネットワークやイメージ)についても説明します。
- ②仮想マシンの作成と管理、仮想マシンとそのデータの保護方法、仮想マシンレベルでのストレージ最適化機能の適用方法、ワークロードを Nutanix 環境に移行する方法。
- ③アラート、イベント、ログ収集、レポート、および Prism Central のさまざまな機能を使用してパフォーマンスの問題を特定、分析、修復する方法について説明します。
- ④ノードやクラスタの起動・停止などのメンテナンス作業や、ライセンスやインストール済みソフトウェアの管理・アップグレードをわずか数クリックで行うためのクラスタのセットアップ方法をご紹介します。

CTC NX04





# Microsoft 365 Copilot とは？

## 効率的なプロンプトの作り方 ポイント解説

～ 研修で学ぶ、未来の働き方を変える AI ～

### Copilot とは何か？

Microsoft 365 Copilot は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teams など、使い慣れた Microsoft 365 アプリケーションに統合されており、日々の業務をよりスマートに、そして創造的に変革するAI機能です。

Copilot(コパイロット) は、業務を影ながら支援する「副操縦士」のような存在です。指示を出すだけで、まるで人間の同僚のように提案やサポートをし、例えば、メールのドラフト作成、プレゼンテーション資料のデザイン、データ分析、会議議事録の作成など、できる事は多岐にわたります。ルーティンワークを Copilot に任せることで、時間とリソースを解放し、より重要な業務に注力できます。また、データに基づいたインサイトを提供することで、よりの確な意思決定を支援することもできます。

#### ■ Copilotによる画像生成とデータ分析

Copilot は、従来の業務効率化ツールとは一線を画す、革新的な機能を備えています。その中でも特に注目すべき特徴は、画像生成とデータ分析です。

Copilot は、テキストデータの処理だけでなく、画像生成やデータ分析にも優れた能力を発揮します。例えば、PowerPoint でプレゼンテーション資料を作成する際に、キーワードを入力するだけで、関連性の高い画像を自動生成したり、Excel のデータから傾向を分析し、グラフや表を自動作成したりできます。

#### ■ Copilotのサービスと将来性

Copilot は、常に進化を続けています。Microsoft は、Copilot の機能をさらに拡張するために、大規模言語モデルの開発や、新たな機能の追加を進めています。将来的には、Copilot は、より複雑な業務をこなせるようになり、私たちの働き方をより一層変革していくことが期待されています。Microsoft は、Copilot のアップデート情報を定期的に公開しています。最新のアップデート情報については、Microsoft の公式ウェブサイトをご確認ください。Copilot のような AI 搭載ツールが普及することで、私たちの働き方は大きく変わっていくと考えられます。ルーティンワークは AI に任せ、人間はより創造的で戦略的な業務に集中する、そんな未来がすぐそこまで来ています。Microsoft 365 Copilot は、私たちの働き方を変革する可能性を秘めた、革新的な AI 搭載ツールです。Copilot を活用することで、業務効率化、生産性向上、創造性の発揮、そしてワークライフバランスの改善を実現できるでしょう。



### Microsoft認定コース半額キャンペーン実施中！（2025年3月末までの期間限定）

CTC教育サービスでは、Microsoft認定トレーニングの半額キャンペーンを実施しております。Microsoft 365 Copilotユーザー向けコースやAI開発者向けコースもキャンペーン対象コースです。2025年3月末までの期間限定です。是非この機会をお見逃しなく！



[https://www.school.ctc-g.co.jp/campaign/20241128\\_121997.html](https://www.school.ctc-g.co.jp/campaign/20241128_121997.html)

# 効果的なプロンプトの設定 5つのポイント

## ポイント1. 明瞭性

- ・簡潔で分かりやすい言葉を使う
- ・曖昧な表現や専門用語は避ける
- ・箇条書きや番号を使って整理する

例:

- × 曖昧: 化粧品のキャッチコピーを考えて
- 明確: ターゲットは30代女性、都会的で洗練されたイメージの、オーガニックコスメブランドのキャッチコピーを考えてください。

## ポイント3. 文脈

- ・背景情報や前提条件を提供する
- ・関連情報を与えて、よりの確な回答を促す

例:

- × 唐突: このコードのエラーを修正して
- 文脈あり: PythonでWebスクレイピングをするプログラムを書きました。しかし、このコードを実行するとエラーが発生します。原因と解決策を教えてください。  
#問題のコード

## ポイント5. 試行錯誤

- ・常に1回目の指示で完璧な結果を得られるとは限らない
- ・プロンプトを修正しながら、より良い結果を目指す
- ・様々な表現やキーワードを試してみる

最初のプロンプトで満足な結果が得られなかった場合、右のように修正してみましょう。

## ポイント2. 具体性

- ・求める情報を明確に伝える
- ・必要な要素(長さ、形式、スタイルなど)を指定する

例:

- × 抽象的: 旅行の計画を作って
- 具体的: 来月、3泊4日で沖縄旅行に行きたいです。予算は10万円以内。観光スポット、宿泊先、おすすめのグルメ情報を含めた旅行プランを作成してください。

## ポイント4. 創造性

- ・型にはまらない指示で、AIの可能性を引き出す
- ・比喩や例えを使ってイメージを共有する

例:

- × 平凡: 犬の絵を描いて
- 創造的: ゴッホの画風で、月に吠える犬の絵を描いて
- (他のアイデア): 月に向かって吠える犬を、ゴッホ風の力強いタッチで描いて。

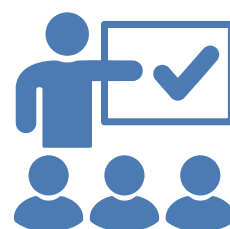
Microsoftが公開しているコードガイドラインを参考にするのもおすすめです

- ・より具体的な指示を追加してみる  
例: 登場人物の年齢、性格、関係性を具体的に記述する
- ・別の言い回しを試してみる  
例: 受動態ではなく能動態で表現する
- ・関連するキーワードを追加する  
例: 時代背景を表すキーワードを追加してみる

## Copilotを学ぶおすすめの研修

【ハンズオン演習付き】Microsoft 365 アプリケーションでCopilot(副操縦士)をより効果的に利用する方法を学ぶ  
**MS-4005 Microsoft 365 Copilot に対して効果的なプロンプトを作成する**  
<https://www.school.ctc-g.co.jp/course/P810.html>

【ハンズオン演習付き】経営幹部、営業、マーケティング、財務、IT、人事、業務の7つのユースケースを学ぶ  
**MS-4004 Microsoft 365 Copilot のユースケースを使って従業員を強化する**  
<https://www.school.ctc-g.co.jp/course/P809.html>



※コースの詳細は、P.2の新コースにてご紹介しています。



# クラウドデータレイクの魅力

ビッグデータを無駄なく活かす仕組みを知ろう (全3回)

## 第3回 クラウドデータレイクサービスと その事例

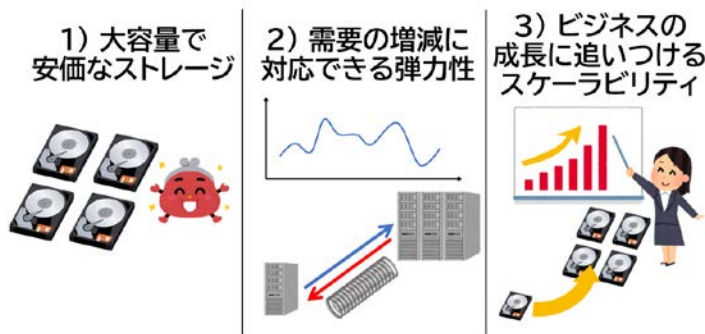
連載の3回目(最終回)では「クラウドデータレイクサービスとその事例」を説明します。

### データレイクをクラウド上で構築・運用するメリットとは(前回の復習)

まず、前回の復習です。前回は「データレイクをクラウド上で構築・運用する3つのメリット」を紹介しました。オンプレミス環境ではなくクラウドサービスでデータレイクを構築・運用することで、

- 1)大容量で安価なストレージ
- 2)需要の増減に対応できる弾力性
- 3)ビジネスの成長に追いつけるスケーラビリティ

の「データレイクで重要な3要素」を容易かつ安価に実現できます。



それでは、具体的なクラウドデータレイクサービスとして

- Amazon Web Services (AWS)
- Snowflake

の2つをその活用事例と共に紹介します。

### クラウドデータレイクサービスの紹介1 : AWS Lake Formation

Amazon Web Services (AWS) は、2024年12月現在 最も利用されているパブリッククラウドサービスで、約33%の市場シェアを占めています。[1]

そのAWS上で「安全なデータレイクを数日で簡単にセットアップできるサービス」[2]が「AWS Lake Formation」です。[3]

AWS Lake Formationを使用すると、データの収集やカタログ化、クレンジング、変換、セキュリティ設定などの複雑なデータ管理タスクを自動化し、専門知識がなくても迅速かつ効率的にデータレイクを構築できます。



<https://aws.amazon.com/jp/lake-formation/> より引用

AWSには、データを収集し、管理・分析するための様々なサービスが用意されています。

例えば、

- データ収集サービス:Amazon Kinesis
- データ蓄積のためのクラウドストレージ:Amazon S3
- データをクレンジングし、カタログ化するETLサービス:AWS Glue
- 蓄積されたデータの分析サービス:Amazon Athena
- データのアクセス履歴の監査:AWS CloudTrail

などです。

これらのサービスを組み合わせればデータレイクの構築は可能なのですが、利用するサービスが多岐にわたるため導入に多くの作業ステップが必要で、運用管理のハードルも高いです。

また、セキュリティに関する設定も複雑になりがちで、「AWS上でのデータレイク構築には数ヶ月単位の時間が必要だ」と言われていました。[4]

その高い導入障壁を緩和してくれるサービスが、AWS Lake Formationです。

AWS Lake Formation を使用すると、

- データの置き場所
- 適用するデータアクセス
- セキュリティポリシー

の3つを定義するだけで、各サービスを個別に設定することなく簡単に安全なデータレイクを作成することができます。

さらに、きめ細かなアクセス制御(FGAC:Fine-Grained Access Control)を使用すれば、データベースやテーブル、列、行などの各レベルでデータアクセスを制御できるセキュリティポリシーを簡単に定義できます。

また、AWS Lake Formation の利用料金は無料です。

配下で活用するAmazon S3 やAWS Glue などのサービスには課金されますが、AWS Lake Formation が提供するアクセス権限の設定などは無償で利用できます。

AWS Lake Formation の具体的な利用例に「OneFootball のデータレイク構築」があります。[5]

OneFootball は、毎月7000万人以上が利用する、サッカーファン向けのメディアプラットフォームです。[6]

OneFootballは、それまで4~6週間かかっていたデータの取り込みと分析を効率化するために、AWS Lake Formationを利用して数日でデータレイクを構築しました。

その結果、分析にかかる時間が2日間に短縮され、社内チームの生産性が向上し迅速な意思決定が可能になりました。

この事例のように、AWS上で迅速かつ効率的にデータレイクを構築できるサービスが、AWS Lake Formation です。



(次ページに続く)





## クラウドデータレイクサービスの紹介2：Snowflake



Snowflake 社は、2012年アメリカ カリフォルニア州で設立された「クラウドベースのデータ管理プラットフォームサービス」を提供する会社です。[7]

クラウドデータレイクの世間一般での認知と共に急成長を遂げており、2019年には「No.1のスタートアップ企業」としてLinkdinに認定されました。[8]

2025年第3四半期の売上高は、9億30万ドル（前年同期比29%増）、サービスは世界中の1万600以上（前年同期比20%増）の組織で利用されています。[9]

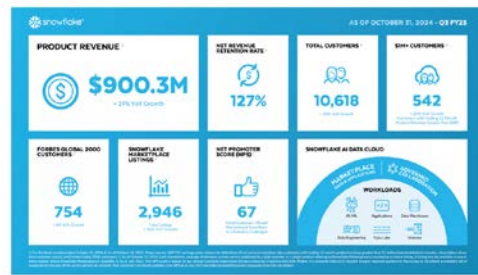
日本法人は2019年12月に設立され、楽天やアシックス、静岡銀行など多くの日本の企業や団体のデータ活用を支援しています。

Snowflake 社のクラウドデータレイクサービスの特徴は以下の3つです。

### 1) マルチクラウド対応

Snowflake のデータレイクは、AWS、Azure、Google Cloud など、複数のパブリッククラウドサービスに対応している「マルチクラウド」なサービスです。

異なるクラウド環境でのデータの一元管理が可能で、利用者は必要に応じて最適なクラウドサービスを選択し、リソースを柔軟に拡張できます。



<https://www.snowflake.com/news/news-data/2024/Snowflake-Reports-Financial-Results-for-the-Third-Quarter-of-Fiscal-2025> より引用

### 2) データマーケットプレイスサービス

Snowflake 社は「Snowflakeマーケットプレイス」という、データ、アプリケーション、AIプロダクトを利用者間で売買できるプラットフォームを提供しています。[10]

例えば「ユーザーの購買動向や商品の需要を、天候や気温データを基になるべく正確に予測したい」という場合、精度の高い気象データをどこからか入手しなければなりません。

そのような「データ分析の新しい切り口として外部データを導入したい」や「自分たちが集めたデータを安全に収益化したい」というニーズに応えてくれる場所が、Snowflakeマーケットプレイスです。

例えば日本では、ウェザーニューズ社が高精度(1~5kmメッシュ)の気象データを2021年6月からSnowflake マーケットプレイスで販売しており、企業の「気象データDX」を支援しています。[11]



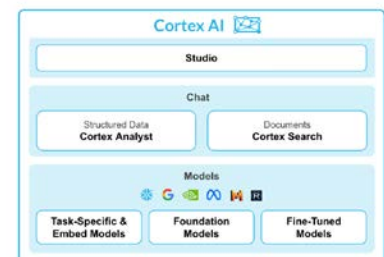
<https://news.mynavi.jp/techplus/kikaku/snowflake-workload-12/> より引用

### 3) AIによる「データ活用の民主化」実現

2024年6月の「Snowflake Summit 2024」イベントの基調講演において、Snowflake 社のブランドメッセージを「Data Cloudカンパニー」から「AI Data Cloudカンパニー」に変更しました。

Snowflake 社の AI 部門責任者のパリス・グルテキン氏は「AI Data Cloudは、AIとデータを自然な方法で活用できる環境を目指している」と語っています。[12]

これまでは高度な専門知識を持った人のみがデータ分析・活用を行っていましたが、AIを上手に活用すれば一般のビジネスユーザーであったとしても簡単にデータにアクセスし、分析・活用ができるようになります。(=データ活用の民主化)



[https://quickstarts.snowflake.com/guide/getting\\_started\\_with\\_cortex\\_analyst/#0](https://quickstarts.snowflake.com/guide/getting_started_with_cortex_analyst/#0) より引用



そのための多くのAIサービス(=Snowflake Cortex)をSnowflake社は2024年5月に発表しました。その中の一つが「Snowflake Cortex Analyst」です。

Cortex Analystは、自然言語を使ってSnowflakeの構造化データの分析ができるようになる、フルマネージド型のサービスです。例えば「〇〇地区で昨年度から最も売上がアップした商品を教えてください」とCortex Analystに尋ねると、まるで目の前に優秀なアナリストがいるかのようにデータを分析し答えてくれます。

日本でのSnowflake Cortexの活用例として、静岡銀行の「営業活動支援用の生成AIチャットボット」を紹介します。

チャットで「お客様との次回の打ち合わせでどんな提案すればいい?」と質問すると、蓄積された活動情報や顧客情報をもとにSnowflake Cortexが顧客の状況に応じた最適な回答を返してくれ、効率的な営業活動ができるようになります。

このような「生成AIチャットボット」の開発に着手したと、静岡銀行が2024年10月に発表しました。[13]



[https://www.shizuokabank.co.jp/news/20241025\\_g4o/241025\\_NR1.pdf](https://www.shizuokabank.co.jp/news/20241025_g4o/241025_NR1.pdf) より引用



## 最後に

このコラムでは、全3回にわたって

- ・データレイクとは何か
- ・データレイクをクラウド上で構築・運用する3つのメリット
- ・クラウドデータレイクサービスとその事例

を紹介しました。

クラウドデータレイクサービスは、企業が大量のデータを効率的に管理・分析するための強力なツールです。

データによるDXを実現するために欠かせない魅力的なサービスを、このコラムを通じて少しでも皆様に伝えることができれば幸いです。

参考文献: Rukmani Gopalan (著), 丸本 健二郎 (監修), 長尾 高弘 (翻訳) (2024) 『クラウドデータレイク ―無限の可能性のあるデータを無駄なく活かすアーキテクチャ設計ガイド』 オライリー・ジャパン

[1] アメリカの調査会社Canalysによる2024年第3四半期のパブリッククラウド市場調査結果

<https://www.publickey1.jp/blog/24/aws332azure203google10canalys20243.html>

[2] AWS Lake Formation 一般公開のお知らせ <https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2019/08/aws-lake-formation-is-now-generally-available/>

[3] AWS Lake Formation <https://aws.amazon.com/jp/lake-formation/>

[4] 【AWS Black Belt Online Seminar】AWS Lake Formation [https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20191001\\_BlackBelt\\_LakeFormation\\_A.pdf](https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20191001_BlackBelt_LakeFormation_A.pdf)

[5] OneFootballはAWS Lake Formationを利用して数日でデータレイクを構築し、7,000万人のファンにサービスを提供

<https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/onefootball-aws-lake-formation-case-study/>

[6] OneFootball <https://onefootball.com/en/home>

[7] Snowflakeについて <https://www.snowflake.com/ja/company/overview/about-snowflake/>

[8] Top Startups To Work For In 2019 According To LinkedIn

<https://www.forbes.com/sites/louiscolombus/2019/09/04/top-startups-to-work-for-in-2019-according-to-linkedin/>

[9] Snowflake社の2025年度第3四半期の決算報告

<https://investors.snowflake.com/news/news-details/2024/Snowflake-Reports-Financial-Results-for-the-Third-Quarter-of-Fiscal-2025/>

[10] Snowflake マーケットプレイス <https://www.snowflake.com/ja/data-cloud/marketplace/>

[11] 気象データをSnowflake経由でデータシェアリング、天気ビジネス活用で企業のDXを推進 <https://news.mynavi.jp/techplus/kikaku/snowflake-workload-12/>

[12] 会社の看板を「AIデータクラウド」に掛け替えたSnowflakeの現在地、AI部門責任者に聞く <https://ascii.jp/elem/000/004/217/4217398/>

[13] 3社連携で営業活動の高度化・効率化をめざす「生成AIチャットボット」の開発に着手 [https://www.shizuokabank.co.jp/news/20241025\\_g4o/241025\\_NR1.pdf](https://www.shizuokabank.co.jp/news/20241025_g4o/241025_NR1.pdf)

著者: 平野幸次

開発実務経験を活かしたトレーニングが好評の仮想化分野・データベース分野の講師。

講義中も常に会場全体を見渡し、忍耐強く根気強く指導する姿に受講者からの信頼も厚い。

---

---

## クラウド、データサイエンス研修 好評定期開催中！

### クラウド概要 ～「なんとなく知っている」を「はっきりわかる」へ～

期間 1日間 (9:30～17:00) 価格 ¥60,500(税込)

様々なビジネスシーンにおいて利用が拡大しているクラウドの基礎知識を習得します。

本コースでは、クラウドコンピューティングとは何か、やメリット/デメリット、どのようなサービスが利用できるか、などを紹介します。また、代表的なパブリッククラウドサービスの特徴を事例を交えながら活用方法を紹介します。

<https://www.school.ctc-g.co.jp/course/CL100.html>

### ゼロから始めるデータサイエンス ～DS検定リテラシーレベル対応講座～

期間 2日間 (9:30～16:30) 価格 ¥108,900(税込)

インターネットやビッグデータの広がりと共に、多種多様なデータが収集され蓄積されるようになりました。これからの時代を生き抜くためには、このたくさんのデータを正しく集め、正しく分析し、正しく利用することが求められます。

本コースでは、データサイエンティストに求められる基礎スキルを、2日間の講座で分かりやすく丁寧に解説します。統計の基礎知識だけでなく、データを収集するときの注意点や分析のポイント、そしてその後の利用や扱い方について、具体的で実践的な内容を扱います。データサイエンティストとして活躍するための基礎力はもちろん、今の時代を生きるすべての人に必要な「データを扱う力」を養う事を身に着ける手助けになります。「与えられた情報を見るだけ」だった状態から、「その情報の裏に潜む何か」を見つけられるようになります！

また本コースのカリキュラムは、データサイエンティスト検定リテラシーレベルのシラバスに沿った構成となっているため、試験を受験予定の方にもおすすめのコースです。(シラバスver5対応)

※本コースはデータサイエンス協会の監修済みコースです。

<https://www.school.ctc-g.co.jp/course/DIL003.html>

---

---

お問合せ先

## CTCテクノロジー株式会社

### ラーニングソリューション営業・企画部

〒105-6911 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー

TEL 0120-667230 (9:00～12:00 土日祝を除く) WEB <https://www.school.ctc-g.co.jp/>